

「『きぼうの虹』フォトコンテスト2022」応募作品
「桜と雪と」 春山 博昭



KIBO NO NIJI きぼうの虹

発行所
北海道大学生協同組合
札幌市北区北8条西7丁目
教職員委員会編集
電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 二面 2023年度『総代選挙』実施中です!
- 三면 札幌キャンパスとアイヌ語
- 七面 大学文書館へ行く 第14回

アイヌ・先住民研究 センター1准教授 北原モリトシ
北海道大学 井上 高聡

北大生協創立75周年記念誌を手にした。戦後の混乱期における食糧難への対応として「学ぶことは食べること」を目標に、1947年6月に北大協同組合が設立されてからの歩みがまとめられており、興味深く読ませてもらった。特に、50周年誌からの25年間の歩みは、筆者がちょうど北大を離れていた時期と重なるため、その間に生じた北大生協の変化に注視した。生協会館店の建て替え、各店舗の改装、北大グッズの開発など新事業の展開に加え、環境課題推進委員会での活動、北海道胆振東部地震の時に生じた組合員サービス、さらにはコロナ禍における学生支援など、その時々における課題に対して真摯に対応してきた姿を読み取ることができた。しかし他方で、コロナ禍による大見理事長による記念講演会の講演内容やその後のトークセッションで話者になったように、北大生協における経営問題が喫緊の課題であることが、事業実績の推移データをみると切迫感を伴って伝わってきた。

コロナ禍が大学生協の事業展開に与えた影響が計り知れないのは言うまでもない。筆者の前任地における大学生協でも問題状況は同様であり、累積赤字と自己資本を比較しながらの決算に追い込まれた。また、経営的には深刻ではあったが、なぜか悲壮感はなかった。それは、オンラインでの新入生対応が奏功したのか、学生委員会に新入生が多数集まり、定時職員を含めた生協職員ほとんどが退職することがなかったためであり、学生・教職員・生協職員ができるだけ集まって話し合い、できることを実践したからと思われる。食堂が開

業できないのであれば、弁当の宅配をやってみようかなど、経営収支は別にして創意工夫して取り組みを進めてみたことが前向きな雰囲気を生んだように感じられる。もちろん、雰囲気だけで事業実績が回復するわけではなく、行政的な助成や生協連の経営支援に助けられた。また、地域生協からの多大な協力がなければ学生への食料支援は実現できなかった。

実践の積み重ねとしての 協同組合学

北海道大学院農学研究科
基礎研究部門 農業経済学分野
協同組合学研究室

板橋 衛



Opinion!

筆者の研究室の看板は協同組合学であり、協同組合の問題に関しては日頃から考えている。75周年記念講演会で触れられていたように、協同組合は19世紀のヨーロッパを中心とした世界的な運動の中で生まれ、1895年に国際協同組合同盟(ICA)が発足して、協同組合の取り組み内容を整理した協同組合原則が1943年に定められた。世界の協同組合は概ねその原則・理念に基づいて事業

展開を行っている。しかし、その原則は、理念優先というよりは経営的に成り立っている協同組合の実践をまとめたものであり、その後1966年、1995年に、基本的な原則は不変ながら、その時々の世界における協同組合運動の実態を検討して改定されている。1995年の改定では日本の協同組合における地域社会との関係性が注目され、その考え方が原則に入っている。ここからは、協同組合の理論や存立意義は理念ではなく実践にある事がわかる。何をやるにしてもいいわけではないが、その時々組合員の要望や課題に向き合って、現実的な対応の積み重ねで協同組合は成り立っていることを示唆している。

北大生協における経営問題は、コロナ禍以前から認識されていたとみられ、事業計画に反映させる矢先にコロナ禍に突入してしまったと理解している。また、この25年間に於ける北大生協を取り巻く組織・事業・経営環境の変化は、大学の独法化、近隣における小売業店の展開、学生気質の変化など枚挙にいとまがない。しかし、組合員の要望や課題に対応した現実的な取り組み以外に大学生協の存立意義はない。組合員である学生・院生・教職員の参画を大切にして、自分たちの組織、店舗、食堂と実感できる実践が求められている。前任の大学生協では、新店舗のコンセプトや内装、食堂のメニュー考案に学生が参画し、ユニークな事業を実現していた。これからの北大生協づくりの実践は、組合員全員の課題であり、協同組合学の理論構築でもある。

●2023年度『総代選挙』実施中です!●

【総代】とは…

組合員の代表で、生協運営の最高議決機関である『総代会』（株主総会の協同組合版：5月開催）に出席し、1年間の総括と決算を承認したり、これからの運営方針と予算を決定する議決を行います。教職員はその後の状況確認や組合員からの意見・要望を政策に反映させるために年10回開催の『総代会議』に参加（主にオンライン）し意見交換を行い、運営に参加しています。

2023年度の総代を決める時期となりました。

選挙区は右表の通り合計で260名(昨年同数)を目標に各選挙区ごとに選挙を行っていきます。

総代選挙区	定数
学部生	150
大学院生	40
教職員	60
生協職員、その他	10
合計	260

【教職員選挙区】

2月の総代会議で総代選挙を提起しました。本年度の総代の皆さんにはぜひ継続をお願いいたします。退職や異動で欠員が出る可能性があるブロックでは、後任総代の立候補・推薦などをお願いしていきます。

【学部生選挙区】【大学院生選挙区】

本年度総代の皆様に『継続願いのメール』を発信します。また、学部新一年生については接点を設ける取組を行いつつながら52名の選出を予定しています。

新大学院生についても歓迎企画等の接点づくりを行い不足のある学年については、立候補・推薦などをお願いしていきます。

2023年度の総代選挙は3月～4月末くらいまでに行っていきますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。



Zoomによる『教職員の総代会議』の様子

2023年度通常総代会について

2023年5月25日（木）工学部オープンホールにて開催（予定）

「総代会」は年に一度開催される北大生協の最高議決機関です。ここでは組合員の代表である「総代」が議案について議決をし、今後一年間の生協運営についての方向性を決定します。

今後、4月から5月にかけて教職員総代会議や学生総代説明会などにおいて、議案の説明を行っていきます。

また生協の「理事会」を構成する役員を選出するのも総代会で行われます。理事会は、年数回行われる総代会議、総代ミーティングや組合員の声カードから組合員の要望をとらえ、総代会で議決した方向性に基づいて生協を運営していきます。総代会で議決するのも役員を決めるのも組合員のみなさまのご協力が必要です。4月25日までに「総代」の選出（立候補・推薦）にご協力をお願いいたします。

【北大生協 総代会 ホームページ】

<https://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/univcoop/board/soudaikai.html>



札幌キャンパスとアイヌ語

アイヌ・先住民研究センター准教授 北原モコツウナン
文様デザイン sayo



サクシコトニ川 『もう一つのキャンパスマップ』(寿郎社)より

正門を入ってすぐのインフォメーションセンター「エルムの森」では、明るい店内やテラスでお茶を楽しめます。そこに置かれていたキャンパスマップを手に取ると「エルムの森」の下に「ソソコウシ」と書かれています。これは、インフォメーションセンターをアイヌ語訳したものです。2021年度から、文学研究院の佐藤知己教授を中心に、マップに記載されている施設名をアイヌ語化して表示しています。「正門」は「ノシキウンアパ」、旅行者にも人気の「ポプラ並木」は「クルンニウペカイキリ」。一目見てわかるように、アイヌ語は日本語とはまったく異なる言語です。小さなカタカナは、日本語にない音を表示するための工夫です。

とここで「サクシコトニ川」のアイヌ語表記を見る。と「サクシコトニ」とあり、ほとんど同じです。じつは、この川の名は学内に残った唯一のアイヌ語地名です。札幌という町の名を初め、市内いたるところにアイヌ語由来の地名がありますが、学内にもあるのです。また、この川が付属図書館本館の裏に回りこんだ地点では、サケを捕獲するためのウライという設備の一部が出土しています。札幌キャンパスはほぼ全体が遺跡に登録されており、これまでに約5000年前以降の遺物が見つかっています。また、農学部奥の石山通を越えた西側農場付近には、明治時代初期までコタン(集落)がありました。札幌キャンパスの敷地は、近代までアイヌ民族の生活が連続と続いていた場所だといえます。その後、本学には教職員や学生としてアイヌ民族にルーツを持つ人々が所属してきました。私自身は、ごく新しい時期のアイヌ文化、特に信仰や言語を学び、大学院時代には植物園や図書館の北方資料室に足を運びました。どちらにも、先祖の文化と歴史を知るた

めの大変貴重な資料が保管されています。そのため、学外の学生でしたが、しよっちゅう本学の中をうろついていました。近年は、マイノリティ・先住民であるアイヌ民族が、学内で安全に過ごすための環境整備も研究テーマに加わりました。一般にアイヌ研究といえば歴史・文化が主で、同時代の存在という感覚は薄く、また北海道特有の領域だと見なされがちです。20世紀後半から国際的に使われるようになった「先住民」は、他の民族の国家に統合されながら法的・政治的に疎外されている人々を表す概念ですが、国内では考古学などで「最初期の住民」という意味で使われてきた経緯もあり、いまだに誤解されることが少なくありません。先住民であるという点で、アイヌ民族は他のマイノリティとは完全に同じではありませんが、存在が不可視化されている点な



一部施設の標識もアイヌ語化されている 『もう一つのキャンパスマップ』(寿郎社)より



コトニコタンの所在地(推定) 『もう一つのキャンパスマップ』(寿郎社)より

ど、その経験は様々なマイノリティと重なるところが多く、それらの研究とアイヌ研究を接合して、DEI推進の中に位置づけていくことができます。キャンパスマップのアイヌ語化は、道外から来て本学の門をくぐる人々への情報発信とともに、アイヌ民族の存在を可視化し、自らの言語・文化を維持しながら、大学での研究・教育活動に参画していくための環境整備でもあるのです。今後は、先住民がくらす他の国の取り組みを参照するなど、一層の多角的な研究と取り組みが期待されます。



■ 学内の研究室での消耗品・備品の手配は「生協外売店」におまかせください。

購買外売店：学内内線 2980 gaibai-s@coop.hokudai.ac.jp
 書籍外売店：学内内線 3260 book@coop.hokudai.ac.jp

購買外売店では、パソコンなどの情報機器、文房具、デスク、パーテーションなど研究・業務に必要な商品のほぼすべてをカバーしています。学部ごとに担当セールスを配置していますので、ぜひお気軽にお声がけください。



書籍外売店では、専門書、洋書、雑誌など研究・業務に必要な書籍の手配を行っています。担当セールスが研究室にお伺いし、企画や新刊情報をはじめ、書籍に関するお問合せ、ご相談も承ります。

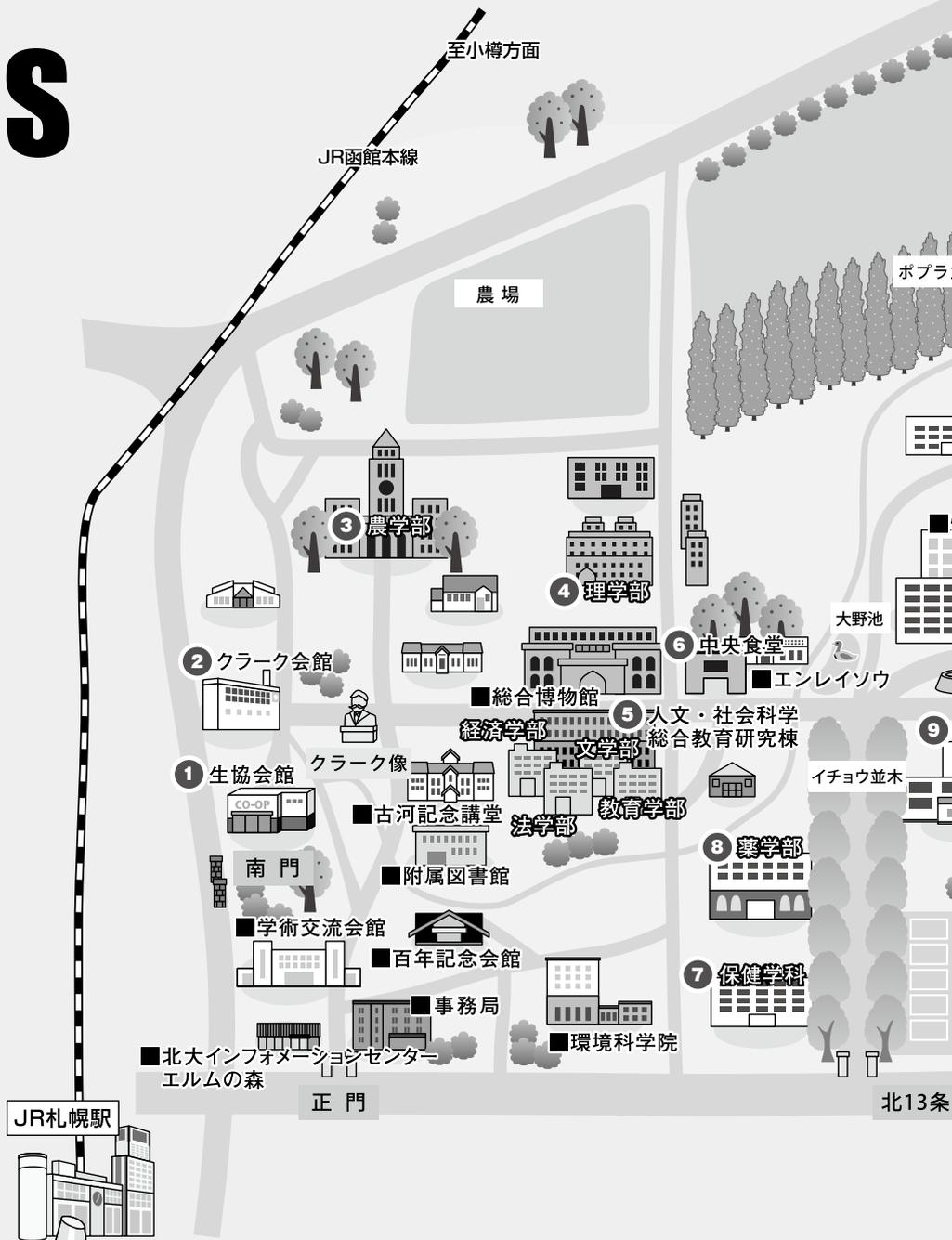


北大生協 店舗利用のご案内

CAMPUS MAP

北大キャンパスマップ札幌

- ① 生協会館 購買
書籍
キャリアサポート店
- ② クラーク食堂
ルームガイド店
印刷情報サービス店
共済組合員センター
- ③ 農学部購買・食堂
- ④ 理学部ミニショップ
- ⑤ 文系ミニショップ
- ⑥ 中央食堂
- ⑦ 保健学科購買店
- ⑧ 薬学部購買店
- ⑨ 歯学部購買店
- ⑩ 工学部購買・食堂
- ⑪ 医学部購買・食堂
- ⑫ 北部食堂・購買・書籍
トラベル・共済
- ⑬ ポプラ購買・食堂
- ⑭ 獣医・自販機店



※函館キャンパスの厚生会館に、購買と食堂があります。

山形県長井市が、全住民参加で生ごみの堆肥化を始めたのは1997年のこと(レインボープラン)。水切りバケツに入れた生ごみを収集所に持ち込み、コンポストセンターで堆肥化。農家はそれを畑で使い、育てた野菜は地元で販売される▼本学農学部の生協食堂傍で、おが屑入り生ごみ分解装置を見たのも97年頃だ。食堂の調理屑・残飯を投入、その含水量等が堆肥化にどんな影響を及ぼすか、実験していたようだ▼生ごみ処理の焼却から堆肥化への転換は、大気汚染減少に役立つ。堆肥はできた。次は実際の利用に向けて何が必要か。続く実験はその方法の模索だった。報告を読んでいると、研究者の思いが伝わってくる▼堆肥化容器にダンボールを使う方法は、いつ誰が考案したのか。札幌市は、01年には「ダンボール箱生ごみ堆肥化」キットの提供を始め、12年からはゴミ減量の啓発活動に取り組んでいる。コロナで休止していた生ごみ堆肥と野菜の交換企画も、昨年再開した▼長井市のようにはいかないが、札幌もゴミ減量の努力を続けている。だが、清掃工場で焼却される家庭生ごみは10年前から減っていないという。キットの提供は、大気汚染減少への全市挙げての取り組みの助走だと思ったが、この助走、長すぎる。(今日子)

いじわるじいさん

山形県長井市が、全住民参加で生ごみの堆肥化を始めたのは1997年のこと(レインボープラン)。水切りバケツに入れた生ごみを収集所に持ち込み、コンポストセンターで堆肥化。農家はそれを畑で使い、育てた野菜は地元で販売される▼本学農学部の生協食堂傍で、おが屑入り生ごみ分解装置を見たのも97年頃だ。食堂の調理屑・残飯を投入、その含水量等が堆肥化にどんな影響を及ぼすか、実験していたようだ▼生ごみ処理の焼却から堆肥化への転換は、大気汚染減少に役立つ。堆肥はできた。次は実際の利用に向けて何が必要か。続く実験はその方法の模索だった。報告を読んでいると、研究者の思いが伝わってくる▼堆肥化容器にダンボールを使う方法は、いつ誰が考案したのか。札幌市は、01年には「ダンボール箱生ごみ堆肥化」キットの提供を始め、12年からはゴミ減量の啓発活動に取り組んでいる。コロナで休止していた生ごみ堆肥と野菜の交換企画も、昨年再開した▼長井市のようにはいかないが、札幌もゴミ減量の努力を続けている。だが、清掃工場で焼却される家庭生ごみは10年前から減っていないという。キットの提供は、大気汚染減少への全市挙げての取り組みの助走だと思ったが、この助走、長すぎる。(今日子)

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



去年の夏、東京デイズニーシーでのこと。おなかへった、と家族と食べるものを探していたら、丸い輪のような絵を描いたのぼりが立っていて、うわきまん、と書いてあります。ああ、中華まんじゅうか…それにしてもうわき！夢の国にも浮気はあるんだ、お姫さまも浮気するんだ…と思つてよく見るとそれは、うきわまん、なのでした。丸い輪は浮き輪だったのか…(うきわまん、おいしかった!)…家族からは、アタマおかしいんじゃないの?お姫様は浮気はしません!そんなこと考えるのは五十万人に三人ぐらいだよ!とあきれられました。まあ、こういう妙な勘違いは、私はよくするので、この時もとくに気にとめませんでした。しかし、後から思うと、これは一つの前兆だったのかもしれない。

そのあと仕事の中で、それまでにないようなことが続きました。学生さんとの約束を忘れる、日程調整の時に考慮に入れ忘れて授業を休講にしてしまう、出すと言っていたレポート課題を出し忘れた、大事な会議の日程を勘違いする…注意が上手く働かなくなっていたようなのです。そして、その頃に行われた職場のストレスチェックで、「高ストレス者」と認定されたのでした。精神科受診を勧めると、結果の通知にはあります。春ごろからよく眠れなくなっていて、精神的な調子を崩しかけていたといった自覚はあったのです。…どうしよう、とあれこれ考えたのですが、行つてプラスになること以外は考えられないと思ひ、行くことにしました。心配して熱心に勧めてくれる学生さんもありました。

こころの健康を考える ⑦9

心理カウンセラーが精神科を受診しましたの記 -その1-

あまり評価されない仕事が多くなったことで、やりがいが非常に低下していますね、との説明でした。なるほど、と思つたことで、その後、学内の先生にも診ていただく機会がありました。

働いていけば、いくつもの仕事が多くなつてしまうことは、ある程度避けようがないでしょう。私の場合は、外部機関との調整をかなり綿密に行う必要がある仕事と、労力を注ぎ込まなくてはならない、学生の博士學位取得のための論文指導が重なり、しかも二年間連続したのは、めぐり合わせのようなものでした。しかもコロナ禍の影響もあつて、不測の事態が常態化していました。いつ何が起るかわからないので、何とか対処できる余裕を確保しておくこと、休日も昼夜も関係なく、できる仕事はその時にしておくというやり方を、自分としては取らざるを得なかったのです。

そのような状況が生じてしまう基礎には、現実的にはなかなか変えることが難しい制度的問題があるにしても、ともかく対処しなくてはならない問題が次々に迫ってくるわけで、それを何とか処理していかなければなりません。また、業務内容が多様化する中、仕事の種類によって評価の軽重があるということ自体は、ある程度やむを得ないものとも思います。

でも今回、精神科を受診する経験の中で考えたこと、得たことがいろいろありました。心理カウンセラーの精神科受診体験記などというものもあまり聞きませんが、これはぜひ皆様に報告して、いつものようにこころの健康について考えたいと思つた次第です。心理専門職には厳格な守秘義務がありますが、自分自身のことなら、まあ、話せますしね。(つづく)

ほけんのお話

車を運転中、事故や故障などのトラブルに、「あゝあ、困った。どうしよう!」なんて事態になった時に頼りになるのが自動車保険に自動付帯されている「ロードサービス」です。よく確かめたことがない人が多いのではないのでしょうか。

「ロードサービス」の主なサービスは、①応急処理：パンク、ガス欠、脱輪、キーとじ込みなど、②レッカー牽引・搬送費用：事故や故障時に自走不能になった車を現場から修理工場まで移動、③修理後の搬送費用、修理後の引き取り費用、④宿泊費、帰宅・移動費用です。これらのサービスの内容は、レッカーの牽引距離(多くは15万円≒180km相当)、宿泊費用(1万円から全額)、ガス欠(ガソリンや軽油の他、最近普及している電気自動車)の充電切れ、料金、雪にはまるスタックは対象になるのかどうかなど、保険会社によって違いがあります。

事故や故障などのトラブルにあった時、その場の対応について慣れている人は少ないはず。あわてないで、「ロードサービス」を利用する時、事故受付・ロードサービスセンターに連絡しましょう。保険会社への連絡なしに業者を手配するとサービス対象外となつてしまう場合があります。故障などのトラブルは車の走行中や外出先で起つてしまうことがほとんどなので、保険会社のロードサービスセンターの連絡先を控えておき、素早く「ロードサービス」を受けられるように準備しておくこと安心です。自動車保険の「ロードサービス」の利用による自動車保険の等級への影響はなく、保険料が上がる心配がありません。

※「格安料金でどこでも対応」をうたっているロードサービス業者の中には、高額な請求をしてくるケースがあるので注意しましょう。



大学文書館へ 行こう

第14回

「クラークの子孫がやってきた」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



資料を観覧するクラークのご子孫
(左の4人、2023年1月9日)

クラークの孫の孫

一月九日、札幌農学校開校時の教頭、W・S・クラークのご子孫、ブラッドフォード・H・シーウェルさん、ご夫人エリザベス・A・グロスマンさん、ご子息ベンジャミンさん、ご息女エラナさんが来学されました。ブラッドフォードさんは、W・S・クラークの玄孫(孫の孫)に当たり、また、戦前に北大予科の英語教師を務め、戦後のクラーク会館開館の際に来日したクラーク二世の孫でもあります。ご一家は総長と面会された後、大学文書館、総合博物館、第一農場を見学されました。大学文書館では、クラークに関する資料をご覧いただきました。

"Boys, be ambitious"の初出

ご覧いただいた資料には、クラークの言葉「Boys, be ambitious」に関する資料も含まれます。例えば、別れの当日、農学校生がクラークを島松まで見送ったことを記録した学校日誌です。しかし、この言葉をクラークが言ったと記した札幌農学校の正式な記録はありません。実際にクラークを見送った札幌農学校第一期生が語り継ぎ、現在に伝わりました。

この言葉の初出は、一八九四〜九五五年に、札幌農学校の校友会誌『蕙林』が五回にわたって連載した、「ウイリヤム、クラーク」と題した伝記です。著者は、札幌農学校予科生安東幾三郎(義喬)で

す。安東は、当時札幌にいた第一期生からの聞き書きを基に執筆しています。「学生一同鞍馬十数匹を連ね彼を送りて島松に至り、此所にて昼飯を喫したり。一同別を惜みて泣きぬ。暫くにして彼悠悠々として再び馬に跨り、学生を顧みて叫んで曰く『小供等よ、此老人の如く大望にあれ』(Boys, be ambitious like this old man.)と、一鞭を加へ塵埃を蹴て去りぬ。」(『蕙林』第十三号、一八九四年十一月)



安東義喬(1899年、大学文書館蔵)

この後、札幌農学校や北大の刊行物に、「Boys, be ambitious」は頻繁に登場します。さらに、一九三三年に第一期生大島正建が『クラークとその弟子達』を刊行し、翌一九三三年には尋常小学校六年生用の国定教科書『小学国語読本』巻十一がクラークと「少年よ、大志を抱け」を取り上げて、全国区の名言として知られるようになります。

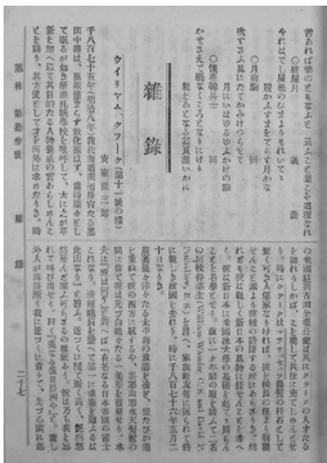
連の指摘、ただの別れの言葉と見るもの、珍説・迷論もあります。

市井の親爺さんの解釈

札幌農学校第十三期生松村松年が面白い回想を残しています。学生時代の松村が悪友たちと悪戯をし、迷惑を掛けた市井の親爺さんの家へ、菓子折を持って謝罪に訪れます。親爺さんは松村たちに向かって、「お前さん等の農学校は、昔のことで、お前たちア知らないだらうが、偉い西洋の先生があてな……なんと言ったっけかなあ、そのボーイ……はつきりと思ひ出せねえがヨ、……つまり小さいことにクヨクヨすんな、もつとでっけえ事に眼を向ける、といった意味

のことを言ったッてぢあねえか、それをお前たちア忘れたわけがあるまい。」と発破を掛けたそうです。親爺さんの解釈は、実に直截で、クラークの真意を鷲掴みにしたような迫力があります。松村は、「Boys, be ambitious」は、在学八ヶ年、知らぬどころか何度聞かされたか知れない「しかしこの時間いたほど、嬉しく、感激的に思へたことはなかった」と記しています(松村松年「大志を抱け」物語、「文藝春秋」一九五六年二月)。

松村が札幌農学校に在学したのは一八八八〜九五年です。回想の内容は、安東幾三郎がクラーク伝記を掲載した時期か、それ以前に当たります。このころには、クラークの言葉は農学校で既に定着し、札幌の市井の親爺さんまでも知っていた、ということを示す興味深い資料です。



安東幾三郎「ウイリヤム、クラーク」
(『蕙林』第13号)

クラーク書籍便り

Vol.13

1位「ゼロからの資本論」は2021年新書大賞第1位「人新世の資本論」の著者・斎藤幸平さんの新刊。2位も同じ著者の既刊「大洪水の前に」がランクイン。経済・思想・宗教に関係する書籍が上位を占めており大学生協らしき全開のランキングでしたが、文芸作品が1冊も無いのは本屋としてちょっと寂しいですね・・・。

クラーク2月一般書ランキング

	書名	著者名	出版社		書名	著者名	出版社
1	ゼロからの『資本論』	斎藤幸平	NHK出版	6	哲学のなぐさめ	アニウス・マンリウス・トルファトゥス	京都大学 学術出版会
2	大洪水の前に	斎藤幸平	KADOKAWA	7	生物学者のための 科学哲学	コスタス・ カンブラーキス	勁草書房
3	政治と宗教	島蘭進	岩波書店	8	現代思想 2023 3 (vol.51-3)		青土社
4	ルポ大学崩壊	田中圭太郎	筑摩書房	9	イエス伝	若松英輔	中央公論新社
5	人権の哲学	木山幸輔	東京大学 出版会	10	地理学者、発見と出会い を求めて世界を行く!	水野一晴	筑摩書房

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■受験生歓迎活動を実施しました!

2月25・26日の一般前期入試に向けて、受験生歓迎活動を行いました。

① 北大生と話そう

入試を直前に控えた受験生の不安に寄り添うために、「北大生と話そう」という企画を各ホテルにて実施いたしました。2月23日と2月24日の2日間、対面・オンラインでちょうど100名の受験生・保護者の方にご参加いただきました。

実施ホテル…ホテルマイステイズ札幌アスペン・京王プラザホテル・ホテルグレイスリー札幌・ホテル東横イン札幌駅北口・ホテル東横イン西口北大前

② 受験生応援冊子「いな蔵」

受験生応援冊子「いな蔵」を作成しました。合格体験記や前日の過ごし方を紹介した記事を掲載し、北大周辺のホテル等で配布しました。

③ YouTubeへの動画投稿

受験生に向けた動画を3本、YouTubeにアップロードしました。「いな蔵表紙タイムラプス」「キタトーク」「北大入試会場紹介」の3本です。ぜひご覧ください。



院生委員会

■2023年度の委員会活動方針

2023年度の院生委員会では「あい」からつくる ともにかがやく」という目標を立て、この激動の時代のなか多くの組合員が自身の生活を見つめ直し、学部や階層などの垣根を越えて心と力を合わせ、よりよい生活を実現できるよう目指していきます。

今年度も院生委員会をよろしくお願いたします!

■総代会へ向けて

5月末に開催される総代会に向けて準備をしています。今年度は学生委員会と連携し、学部生と大学院生へ同時にアプローチし、総代の募集やその後の企画づくりを進めていきます。また、教職員総代や生協職員とも積極的に交流し、より多くの方に生協の運営に参加してもらえよう工夫していきます。

■院生委員会公式Twitter

@Hokudainsei

院生生活や生協に関する情報を定期的に発信しています!ぜひフォローをお願いします!

■院生委員会連絡先

hokudai_jinsei@coop.hokudai.ac.jp

院生委員会へのご意見・ご要望があればぜひご連絡ください!

教職員委員会

■教職員総代会議…2月13日14日

と3月15日16日の昼休みにweb会議により開催しました。アプリ登録状況や店舗での状況、新システムへの要望や営業時間などについて意見が出されました。

■教職員委員会…毎月の定例会議を開催しています。きぼうの虹の特集や、総代会議で出た意見について議論しています。

■「きぼうの虹」…教職員委員会で編集し、隔月に発行しています。組合員の皆様からの寄稿を募集中です。

【編集後記】

卒業生が巣立ち、新入生がやってきました。毎年卒業生を送り出すのは寂しくもありますが、社会でしっかり活躍してほしい、と強く願う時でもあります。コロナで大変な大学生活を、それでも前向きに頑張ってきた皆さんへエールを送りたい。そしてようこそ新入生。また新しく北大にいられた教職員のみなさま。生協も含めた全ての大学人と一緒に良い大学をつくっていきましょう。今年度もよろしくお願いたします。